



沖縄平和運動センター議長、山城博治さんと交歓。知事選圧勝の沖縄県民に学び、来春の地方選挙で9条改憲を許さないうねりを枚方からも。(11/4 大阪市扇町公園)

平和がいちばん

2018年11月15日 第137号
平和で豊かな枚方を
市民みんなでつくる会

市民と議会を直結する 請願活動

枚方市議会も含めて、市民が議会で発言できる機会はほとんどありません。市民が議会に声を出す手段として請願と陳情が地方自治法で認められています。一人以上の議員の紹介で要請するのが請願で、議員の紹介がなければすべて陳情扱いとなります。自治体によって扱いは異なりますが、本市では陳情は写しを全議員に配るだけで内容を議会で議論することはほとんどありません。請願は本会議で趣旨に賛同する議員が請願文を読み上げ、担当常任委員会で必ず議論をし、採決します。

約7年前に市民の権利が一步前進しました。それは市民が委員会で、議員や市の執行部を前に10分間の枠内で請願の理由などを直接発言できるようになったことです。議員の質問にも応答します。

この7年半で22件の請願が行われました。美術館建設白紙撤回、生涯学習市民センターや図書館への指定管理者制度導入反対、政務活動費廃止など、22件のうち11件を手塚たかひろ議員が紹介議員になりました。市民と議会を直接結び付ける役割を果たしました。請願した市民は感じました、議員の感覚が市民感覚と著しくずれていることが多いことを。そして議会改革の必要性を痛感しました。市民は動き始めています、議会改革の要望書が市民から議長に提出されました。

アメリカのバークレー市は、子どもを含めて市民が議会で直接意見を述べる場が保障されています。愛知県犬山市議会では今年3月から毎議会ごとに市民が議場で意見を述べる「市民フリースピーチ制度」が発足しました。抽選で選ばれた7名の市民が一人5分発言できます。犬山市のような制度を枚方市でも作りましょう。市民が議会に関心を持ち、声を出せば議員も緊張します。議会の活性化につながります。市民の力が議会を変えます。

<お悔やみ>

松本健男さん(弁護士)が10月31日逝去されました。享年88歳でした。

松本さんは権力者や資本家の横暴を許さず、働く者、弱者のために闘われた弁護士でした。

松本さんには「市民の会」設立時から共同代表を務めていただき、「会」の政策立案や運営にご指導いただきました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

意見

「大ホール」がない中核市 藤下 司朗

オールの地震で天井の一部が破損した枚方市民会館大ホールの廃止が決まった。総合文化会館が二年六月開館予定で、約二年間のために四千八百万円かけることは“費用対効果”の観点から無駄、が理由。期間限定とはいえ枚方に「大ホール」がなく、市民の文化活動・表現及び鑑賞・の機会が奪われることになる。

市民会館は全体で年間三千五百万円の収入があり、大ホールは稼働率八〇%を超えている。修理して開館すれば、一年で二千万円、二年で四千万円の利用料収入がある計算になる。市民が廃止は間違いだ。市民が

大ホールでの文化活動に参加して、学び、感じて、考えることをどのように「効果」測定できるのか。表現者も真剣、鑑賞者も期待して創り上げる舞台に「効果」などという言葉はまったく相応しくない。

今、枚方維新市政は図書館などの運営を民間に委ね、図書館分室の廃止も俎上に上げている。さらに維新大阪市長は学力テストの成績と教員のボーナスを連動させると言い始めている。お金と「成績」や「効果」を取引させる維新市政を、豊かな人生を願う市民は許さない。

手塚たかひろ 議員日誌

10月21日 「すずらんまつり」に参加 高齢者福祉や介護問題を考え解決を図るための祭り。秋晴れの楠葉中央公園で様々な団体や個人が集い、200名が参加したとのこと。国や枚方市の介護改悪、高齢者切りすてに怒りともに声を上げようとのメッセージが、楽しい祭りを通して共有できたと思う。

10月28日 シンポジウム「枚方の図書館はどこから来てどこへ行くのか」 パネラーの一人として参加。「民間活力導入」の掛け声のもと、枚方市の6図書館分館の管理運営が民間の指定管理者に任された。しかし6分館の図書館長のうち3人は、元枚方市や他市の直営図書館の職員。実態は民間が元公務員の活力を必要としていることが明らかになった。民間でしかできない仕事は図書館にはない。「民間活力」を言う前に、これまでの仕事のやり方を行政は厳しく総括すべきだと主張した。また、東香里・茄子作・釈尊寺の図書館分室は本のある居場所を地域から奪うことになるので存続すべきだとも主張した。



1947年佐賀県唐津市生まれ
京都大学経済学部卒 京都市役所34年間勤務 主に福祉職場で働く 2011年市議初当選 現在2期目

11月4日 「団結まつり」参加 会場の扇町公園で、沖縄現地で辺野古新基地建設反対を闘い続けている山城博治さんの報告に力をもらった。東アジアで平和の動きが進んでいる。沖縄に新基地を作る必要はないことは明らかだ。わがことと捉え、枚方からもできる限りの支援をしたい。

10月26日 10月分議員報酬から218,200円を大阪法務局に供託 **政務活動費は受け取っていません**

松田久子 ホッとタイム



1957年彦根市生まれ 滋賀大学教育学部卒 81年から枚方市の障がい児施設・高齢者施設で働き 介護職経験33年 ケアマネジャー10年 介護・福祉「すずらんの集い」代表

「議会改革への要望」の声すら届かない市議会こそ 改革を！

私たちは、枚方市の市議会議長あてに議会改革の要望書（前号の「平和がいちばん」報告参照）を9月18日に、327名の市民の連名で提出しました。10月15日までに回答を求めていましたが、回答がなかったために面談での説明を強く求め10月16日、追加の43名の名簿提出（合計370名）とともに議会事務局と面談。事務局からは、私たちが提出した要望書は議員にコピーを配るだけの「陳情」扱いになり、内容については理解するがいちいち回答する性格のものではないとの理由で回答を断られました。しかしこの要望書は市議会議長に求めているものであり、市議会議長に直接、私たちの思いを伝えたいと訴えました。議会事務局も議長に私たち

の思いを伝えると約束しましたが、その後の電話で、やはり議長との面談はできないとの返事でした。一例を認めると、すべてに対応しなければならなくなるからが理由でした。必要性ではなく、一律に断る形式的な対応には納得がいきません。

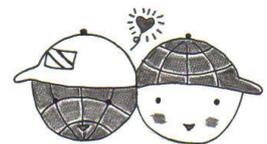
私たちの改善を求める5項目について、意に沿えない理由を文書で今月中に回答するように伝えました。市民の声に真摯に向き合おうとしない市議会議長の対応を見ても、議会がいかにか市民に閉ざされているかがよくわかりました。だから市議会を変えていかなければという気持ちを更に強くしました。市民の要望をないがしろにする市政、市議会は、市民の手で変えていかなければなりません。

〒573-0027

枚方市大垣内町
2丁目8-27
シンエービル別館A
市民の広場ひこばえ
TEL&FAX
072-846-8780

平和で豊かな枚方を市民みんなで作る会

共同代表 鈴木めぐみ（親と子のリズム遊び講師）
奥村 秀二（弁護士）
おおた幸世（枚方市平和無防備条例を実現する会）
事務局 手塚 隆寛（枚方市会議員）
事務局次長 松田 久子（「すずらんの集い」代表）
メールアドレス：hiratkatasiminnokai@yahoo.co.jp
ホームページ：<http://hiratkatasiminnokai.jimdo.com/>



「会」のシンボルマーク
塔本賢一さん作